

# 2026年度前期STARTプログラム コース一覧

※2026年4月23日現在の予定です。プログラム内容は予告なく変更する可能性があります。

	プログラム名/ 研修先大学・機関	渡航期間/定員/ 参加費(*注)	JASSO奨学金	主な研修内容(予定)	宿泊場所	研修先大学・機関の紹介	研修先地域・都市の紹介	単位数
第105回	【大学の世界展開カアジア】 「韓国で体験する異文化コミュニケーションと平和」 ／韓国外国語大学	8月17日(月) ～8月25日(火)  定員:10人 (1年生対象) 参加費:12万円	対象者:11万円支給	午前中は主に韓国講師から韓国語を学び、午後は英語で韓国の近代の歴史、経済を学ぶとともに、校外学習で伝統文化やK-POPなどのコンテンツビジネスなどを現地の学生サポーターとともに学び、実際に韓国語会話も実践します。また、日本と韓国での平和に関する考え方の違いも学びます。 ※本コースは、本学学生、受入校学生に加えて、中国・タイ・インドネシアの連携大学の学生も参加の予定です  ◆韓国語講座(午前中)※講義は韓国語で実施 ◆韓国の伝統文化・現在の文化についての講義(午後) ※講義は英語で実施 ◆キャンパス内及びソウル市内見学(過去はNタワー、旧大統領府などを訪問) ◆景福宮(キョンボックン)訪問、韓服(ハンbok)体験 ◆韓国観光広報館でK-POPや韓国ドラマなどのコンテンツビジネスを見学、体験 ◆韓国民俗村見学 ほか ※自己負担となりますが、昼食は大学内の学食や見学先のショッピングモールなどで韓国料理を体験でき、習った韓国語を実践します。	韓国外国語大学の寮もしくは大学近くのホテル	【韓国外国語大学】 韓国外国語大学(HUFS)は韓国の外国語教育発祥の地であり、アジア、中東、主要地域の45言語が学べます。HUFSは男女共学で、18学部78学科で約17,000人の学生が在籍しています。また、HUFSは世界97カ国602大学と教育交流提携を結び、教育交流を行っています。外国語の理論と実践に重点を置くだけでなく、身につけた語学力を活かして、世界の政治、経済、社会、文化について学べるHUFSの卒業生は、国際貿易や外交の分野などで重要な役割を果たしています。	【ソウル市】 ソウル特別市は、人口は1000万人を超える大韓民国の首都。京畿地方に位置し、行政区25区からなるソウルは政治の中心であるだけでなく、経済、交通、文化、教育・学術面などにおいて韓国の中核。都市圏人口は2604万人で世界5位。韓国全人口の約半数が居住し、人口密度は東京都の約3倍です。アジア最大級の都市であり、東京、ニューヨーク、ロサンゼルスに次ぐ世界4位の都市圏経済力を有しています。	1
第106回	「マングローブ植林から学ぶ環境保全と共生」 ／ハサヌディン大学	8月24日(月) ～9月3日(木)  定員:20人 (1年生対象) 参加費:21万円	対象者:8万円支給	海洋環境と地域文化をテーマに、自然体験と文化交流を中心とした学びを行います。地域社会と関わりながら、環境保全や伝統文化への理解を深めます。  主な内容 ◆海洋生態系や伝統文化に関する講義 ◆マングローブの植林体験 ◆漁村(フィッシングコミュニティ)の訪問 ◆インドネシア語講義 ◆バンティムルン=フルサラウン国立公園、フォート ◆ロッテルダムなどの見学 ◆伝統舞踊の体験 など	キャンパス内のゲストハウス	【ハサヌディン大学】 ハサヌディン大学(Hasanuddin University, UNHAS)は、1956年に設立されたインドネシア共和国の国立大学で、南スラウェシ州マカッサル市に位置しています。東部インドネシアを代表する総合大学として知られ、農学、工学、医学、法学、社会科学、海洋・水産学など幅広い分野において教育・研究を行っています。[ja.wikipedia.org] 同大学には現在、約37,000人の学生が在籍しており、特に海洋国家インドネシアの地理的特性を活かした海洋科学、サンゴ礁研究、水産資源分野では国際的にも高い評価を受けています。また、世界各国の大学と学術交流協定を結び、日本を含む多くの大学と学生交流・共同研究を積極的に推進しています	【マカッサル】 インドネシア南スラウェシ州の州都であり、東部インドネシアを代表する港湾都市です。古くから海上交易の拠点として栄え、現在も国内外を結ぶ物流・交通の要衝として重要な役割を果たしています。 市内には近代的な都市機能と伝統文化が共存しており、歴史的建造物であるフォート・ロッテルダムや、海沿いに広がるロサリビーチなど、市民や観光客に親しまれる名所も多く見られます。また、スラウェシ島周辺の豊かな海洋資源に恵まれ、海洋研究や水産分野の拠点都市としても知られています。 比較的温暖で開放的な雰囲気を持つマカッサルは、学生や留学生にとっても生活しやすく、多様な文化に触れながら学ぶことができる都市です。	1
第107回	【Mega Exchange Program】 「持続可能な開発と、地域の文化・自然環境との調和」 /アイダホ大学	9月1日(火) ～9月12日(土)  定員:30名 (1年生対象) 参加費:15万円	対象者:JASSO奨学金対象外	「持続可能性」や「場所の感覚(Sense of Place)」をテーマに、自然、歴史、文化を多角的に学びます。キャンパス内外でのフィールドワークや体験型学習を通して、平和や環境について理解を深めます。  主な内容 ◆文化的・地理的視点から、持続可能性と「場所の感覚」を学ぶ ◆北アイダホの自然・歴史・地域社会に関する学習 ◆平和と環境をテーマにした「ピースガーデン」をキャンパス内で共同制作 ◆日本と北米の視点から歴史的経験(日本人強制収容所など)を学ぶ ◆モスクワキャンパス滞在中のフィールドワーク、アートワークショップ、地域見学 ◆4日間の野外学習(McCall Outdoor Science School)で、火災、水資源、生態系を体験的に学習 ◆コースキア日本人強制収容所を訪問し、歴史を考察	キャンパス内のゲストハウス	【アイダホ大学】 ワシントン州との州境近く、アイダホ州モスクワにある、1889年設立の州立大学。11,000人の学生がおり、自然豊かなキャンパスが特徴。自然資源・環境学、農業・生命科学の分野に強みがある。	【アイダホ州モスクワ】 アメリカ合衆国アイダホ州の北西部にあり、人口は約25,000人。ダウントウンはコンバクトで歩きやすく、カフェや書店、オーガニック食材のマーケットなどが並ぶおしゃれなエリア。モスクワは小規模ながらも、知的で自然豊かな生活を楽しめる理想的な学びの町と言われている。	1
第108回	「紛争・不平等・開発-国際社会の対応と課題-」 ／ペルージャ大学・ペルージャ外国人大学	9月17日(木) ～9月28日(月)  定員:20名 (1年生対象) 参加費:39万円	対象者:9万円支給	紛争、格差、開発といった国際的課題をテーマに、講義とフィールドワークを組み合わせ学びます。現地学生との交流や都市訪問を通して、ヨーロッパ社会の歴史や文化を体感できます。  主な内容 ◆紛争・不平等・開発に関する講義(現地学生とのディスカッションを含む) ◆アッシジ、チッタ・デ・イカステッロの訪問 ◆トラジメーノ湖ツアー ◆イタリア語講義 ◆ペルージャ外国人大学の訪問 ◆ローマ訪問	ペルージャ:キャンパス内のゲストハウス  ローマ:ホテル	【ペルージャ大学】 ペルージャ大学(University of Perugia)は、1308年に設立されたヨーロッパ有数の長い歴史を持つイタリアの国立大学です。イタリア中部ウンブリア州ペルージャに位置し、現在は男女共学で、複数の学部・研究科を擁し、約2万5千人の学生が在籍しています。 同大学は人文科学、法学、政治学、医学、理工学、農学など幅広い分野を網羅する総合大学であり、伝統的な学問体系と現代的な研究・教育を融合させた教育を行っています	【ペルージャ】 イタリア中部ウンブリア州の州都で、「イタリアの緑の心臓」とも呼ばれる自然豊かな地域に位置する歴史都市です。丘の上に広がる旧市街には、中世の城壁や石造りの街並みが現在も残り、落ち着いた雰囲気の中でイタリアの伝統的な文化と生活を感じることができます。 古くから学術と芸術の中心地として発展してきたペルージャは、大学都市としても知られ、世界各国から多くの留学生が集まっています。観光地としての賑わいと、日常生活の静けさが両立しており、初めて海外で生活する学生にとっても過ごしやすい環境が整っています。  【ローマ】 イタリアの首都であり、約2,700年の歴史を持つ「永遠の都」として世界的に知られています。古代ローマ帝国の中心地として栄え、コロッセオやフォロ・ロマーノ、バンテオンなどの歴史的建造物が街中に点在しています。 また、バチカン市国を擁するローマは、政治・宗教・文化の面で現代においても重要な役割を果たしており、芸術、建築、文学、ファッションなど多様な分野で国際的な影響力を持っています。活気ある大都市でありながら、歴史と現代生活が共存するローマは、学びと暮らしの両面において刺激的な環境を提供しています。	1

(\*注)参加費に(\*注)参加費には国内交通費を含みません。参加費のほかに、自己負担費用として、海外旅行保険料(大学指定のものに加入必須)、パスポート申請費、査証手配代、現地交通費、お小遣い(食費含む)などがかかります。